

熊本子ども囲碁便り

No.6 2012.6.15

発行：熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174

第 33 回 熊 日 青 少 年 囲 碁 大 会 ！ ！

囲碁を勉強している子ども達にとって一番大きい試合といえる大会。全国大会への県代表選と段・級認定を兼ねた第 33 回少年少女囲碁県大会が 5 月 13 日(日)熊本日新聞社本社にて開催されました。(73 名参加)

代表は下記の通りです。



小学生代表

優 勝

森美咲希 (玉名町小 6 年)

準優勝

黨 泰志 (とうやすゆき・清水小 6 年)

中学生代表

優 勝

橋本淳平 (湖東中 3 年)

準優勝

鶴岡 諭 (武蔵中 2 年)

★ 7 月 31 日、8 月 1 日日本棋院 (東京) での全国大会に出場します。



入門・初心者もたくさん参加しているよ。

熊日の次の大会は秋です。たくさんのお友

だちを誘って参加してくださいね。

第 9 回

文 部 科 学 大 臣 杯 小 中 学 団 体 戦 県 予 選 開 催

6 月 3 日 (日) 日本棋院県本部にて開催されました。

今年の代表校は次の通りです。

熊本大学教育学部附属小学校

主将・ 芦田華

副将・ 前田典俊

3 将・ 朴頌希

出 水 中 学 校

主将・ 田中一光

副将・ 上村真由

3 将・ 上塚千恵子

代表校の選手は 7 月 29・30 日東京での全国大会に出場します。



各教室から

一新こども囲碁教室

(熊本市新町 3-4-22 一新こども囲碁教室 TEL096-352-7639 会長 毛利秀士)

E-mail;mouri@silk.plala.or.jp

ゴールデンウィーク一新こども囲碁教室開催の報告

今年も校区の子供たちの囲碁普及に取り組んでいますが、1月の入門編、4月のレベルアップ実践編に続き5月の連休期間に実戦編を開催しました。

6月、7月に各一日、夏休み期間中には、特別メニューを考えて子ども囲碁教室を開き、子ども同士の対戦がもっと出来るようにしたいと思っていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

5月は、3日と6日に開きました。

- ★ ルールをおぼえて、勝ったりだめなところを発見できるようになってきた。
- ★ みんながうまくなった。もっとおしえてもらって、じょうずになりたいです。
- ★ 頭をつかうこと、集中力がよくなるのがいい。
- ★ 新しいことをおしえてもらえる。
- ★ 囲碁がたのしいと思うようになりました。
- ★ 先生がやさしかった。
- ★ また教室があったら参加したいです。
- ★ 日曜日の午後に開いてほしい。

子どもたちのアンケートから抜粋

子どもたちの声は、これからの運営の参考になります。

熊本チビッコ碁友会(託麻囲碁クラブ)

(熊本市保田窪5丁目9-23 TEL096-382-0174 西山育子・田中信夫)

漫画「ヒカルの碁」効果

10年程前になるでしょうか。「ヒカルの碁」という漫画がアニメ化され子ども達の囲碁人口が一時的に増えたことがあります。テレビ放映は関東地区だけで残念ながら熊本では見ることはできませんでしたが、それでも「ヒカルの碁」を見て囲碁を習いたいと子ども達がやってきたことがあります。

最近、新しく囲碁を始めた小学生が、当クラブの本棚にある「ヒカルの碁」に夢中です。教室に来る時は読んだ本を返し、続きを借りていきます。また、待っている間に読んでいる保護者の方もいます。この漫画は時を超え年齢を超えて幅広く読みやすい面白い本です。囲碁を始めたい、囲碁を強くなりたい・・・間違いなくその気にさせる本です。当時、ヒカルにあこがれて髪型や服装までヒカルの真似をしてやってきた子どもがいました。

もちろん、青年になった今でも囲碁は続けています。

どんな内容かって？

それはぜひ手にとってご覧下さい。そして周りのお友だちにも勧めて下さい。

漫画「ヒカルの碁」がもう一度ブームにならないかなと考えています。(記 西山)

RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座

(熊本市長嶺南 3-9-1 RKKカルチャーセンター Tel.096-383-3900 囲碁講師 藤森常生)



元気で明るい“子ども囲碁教室”

先生“黒番で白石を取るには？”子ども達”先生ハイハイ”と手を上げる。前に出て大盤に黒石を置いて白石を取る。“みんな拍手”

大人には見られない光景です。しかし最近大人の初級講座でも実施しています。(子どもに負けておれません)

高齢者も楽しむ“囲碁講座”

昨年 5 月 23 日、託麻東コミセンでKKテレビタミ英太郎さんの取材番組がありました。御年 92 歳同志の囲碁対局です。対局者は、岡田毅先生(元RKKカルチャーセンター囲碁講師)と増田誠さん(現RKKカルチャーセンター講座受講生)です。

英太郎さんも、お二人のユーモアたっぷり、話がちぐはぐな囲碁の体験談には、腰を抜かすほどの大笑い、参加者も大いに楽しみました。囲碁は、幼稚園の子ども達から、90 歳を超えても現役の方、さらに女性まで楽しめる素晴らしいゲームです。いつれの機会に、高齢者、子ども達、女性を交えての囲碁大会を開催したいと考えております。



人吉球磨支部子ども囲碁教室

(人吉市西間上町 2569-2 みのだ内科循環器科内 0966-28-3111)

「子ども囲碁教室についての雑感」

人吉球磨支部 向坂直義

子ども囲碁教室には、10 年以上携わってきましたが、何年経っても、指導・上達を目指すことは難しいものと思っております。しかし、子どもとの触れ合いで、自身、いやされ、楽しむことができるのも確かです。

私は、囲碁の指導と併せて、日常生活の態度(礼儀・挨拶・規律・感謝等)の育成も大切ではと心がけています。又、指導の二時間中には、自由時間(10 分～20 分)を設定し、共に笑談し、遊んだりすることも必要かと……。更に、付き添いの保護者の方にも教えて、家庭で子どもとの対局ができるようになればと思っています。

す。毎週土曜は、たった一回の教室、有意義に過ごしたいものです。

「囲碁を学んで…」

小学校5年 大谷彩音

囲碁は私にとって、人と人との交流の場をつくるものだと思います。ルールさえ覚えれば、子どもから大人までだれでもできるからです。

私が囲碁を始めたのは、約1年前のことです。知合いの先生から、「囲碁をやってみない？」とさそわれ、囲碁教室を紹介してもらって、行ってみました。私は負けずぎらいで、その日は負けたので、「もう行かない！」と言っていました。でも、毎週通っていると、だんだん強くなってきた気がして、トーナメントでも優勝したりしたので、自分の中で少しずつ自信が生まれました。

今、私は20級ですが、せっかくルールを覚えたので、強くなれなくても楽しく囲碁を打てればいいなと思います。そして、「囲碁をやってみない？」と言って下さった先生や教室の先生方に感謝しています。

「子どもとの楽しい時間」

一保護者

昨年中頃から、二人の子ども（7才・5才）と一緒に、週末囲碁に通っています。

ルールも全く知らない状態からのスタートで、最初は石取りゲームから始まり、現在も石をたくさん置いた状態で教えていただいています。

子ども達も同じような感じだと思いますが、説明してもらって分かったつもりで、すぐにまた同じような間違いを繰り返してしまうところが、可笑しいような、歯がゆいような感じです。上達して、自分で間違ったところを気付くとか、石のより良い置き場所を考えることができるようになれば、より楽しめるのでしょうか、まだまだ道のりは遠いようです。

子ども達にとっても、集中して考えるという機会があるのは良いことだと思いますし、子ども達の様子もそれぞれ個性があって、見ているのも面白いと感じますので、できるだけ長期間続けたいと思います。

日本棋院玉名支部初心者教室

(玉名市岩崎 154-1 TEL0968-74-4968 担当 隈部敏)



第21回玉名市長杯囲碁大会 対局の様子

五月二七日「第二十一回玉名市長杯囲碁大会」を開催しました。当日は学校の運動会や地域行事のため、子どもの参加が少なかったのは残念でしたが、百名を超える参加を頂きました。玉名支部の大会は、子どもにも優しい大会です。次回の大会にぜひ参加して下さい。

囲碁教室『阿蘇一碁一会』・ヒカルの碁スクール『阿蘇』

(阿蘇市一の宮町宮地 6273 番地 6 050-3481-7045 代表 藤崎幸次郎)

こんにちは！囲碁教室『阿蘇一碁一会』の藤崎です。

※ 5 月の 29 日に阿蘇市立山田小学校に囲碁を教えに行ってきました。

一年生から三年生までの放課後クラブ 26 人の生徒でした。

熊本市囲碁普及会の江藤会長のお陰でテレビ局の撮影と新聞の取材がありました。

これを見て少しでも囲碁に興味を持つ子供が増えてくれたら嬉しい限りです。

子供達には、ポン抜きゲームの団体戦の後に個人戦をしてもらいました。団体戦の時には声援がものすごく私の声も聞こえないくらいでした。個人戦では、勝ったり負けたりで、皆それぞれ楽しんでいました。

成績優秀者にはヒカルの碁の碁盤をプレゼントしました。その夜はそれぞれの家で楽しんでもらえたようで、これからも続けてもらえると嬉しいです。

今回は 9 月 18 日にもう一度お邪魔することになっています。

※ 6 月 5 日には、阿蘇市立阿蘇中学校の伝統文化クラブに、囲碁を教えに行ってきました。

クラブ員は二十名ですが当日は四人お休みで 16 名でした。小学校に比べて皆とても静かだったので、少し心配でしたが個人戦の頃には、皆夢中でやっていました。八連勝と七連勝の子がいたのには驚きました。将来強くなるかもしれません。

このクラブは火曜日と木曜日が活動日ですが木曜日は毎週茶道をされているそうです。

火曜日は月に一度囲碁を教えに行ってもいいと言う事ですので今から楽しみです。

※ 6 月 10 日は福岡で行われた宝酒造杯クラス別チャンピオン戦に参加してきました。

一昨年は六段戦でパート優勝し代表戦で負けましたが、勝った人が棄権されたので全国大会に行く事ができました。昨年パート決勝で敗れて行けなかったですが、今年は名人戦に参加するようにとお知らせがきました。

名人戦クラスのレベルは高いので、一勝を目標に頑張りましたが、2回戦でだいぶ良い碁をヨセで緩みに緩んで1目半負け。しかし、三回戦で福岡の強豪 T さんに勝つことが出来、これだけでも行った甲斐がありました。4回戦は、負けて5回戦は、大ボカでやられました(>_<)

また来年リベンジしたいです。



ネット教室便り

先日行われた、大分県少年少女囲碁大会で代表 4 人のうち 3 人が教室生でした。

中学優勝・・・ 宮脇優太 (中 2)

小学優勝・・・ 日高陽光 (小 4)

準優勝・・・ 松木駿之介 (小 4)

県代表として全国大会に出場する(前列右から)日高陽光君、
松木駿之介君(後列右から)宮脇優太君、福田彰吾君＝3日

熊本母と子の囲碁教室

(熊本市下江津 3-4-7 TEL096-370-2263 江藤 由久子)

“3才の入門者T君”

普通、おけいこ事は5才からと言われていますが、我塾でも5才児が2人、可愛い手で碁石を持って楽しんでいました。
先日、6才のお姉ちゃんと一緒にやる気満々で体験にやってきた弟のT君。お姉ちゃんに石の持ち方など教えてもらって遊びました。3才では、まだ無理かな？と、ことらの懸念のもと、本人は横で石を好きに持って遊びました。
ところが、後日2回目。「おねがいします！！」のあいさつの後、石をきちんと指にはさんで碁盤に置く手(姿)にびっくり！！ 本当にやる気まんまんが伝わり驚くやら嬉しいやら・・・
当分は遊びながらですが、3才からでも無理ではないと指導の研究をしてみたいと思います。



「おかげ杯」と「久留米囲碁祭り」に観戦参加して

去る5月15日、碁の囲碁の日、伊勢市おかげ横丁で「第3回おかげ杯」が開催されました。この大会は、ふれあいを目的として地方発の大会です。伊勢市の名物赤福を経営する浜田益嗣氏の肝いりで出来た画期的な大会です。熊本の碁友3人と期待をふくらませ参加しました。何しろ会場の立地にまずびっくり。全国一のパワースポット、伊勢神宮の境内での対局です。気の高い神々しい空気に触れながらの対局です。大会に先立ち参加プロ棋士による指導碁を3人揃って受けました。

神宮の森の横を流れる五十鈴川の湖畔が対局場所です。室内での対局と違い、何ともすばらしい環境での対局でした。3人とも敗けはしましたが、感動に残る体験でした。3人で1子は強くなったね、と話したものです。

皆さんも機会を作って、ぜひお伊勢さん参りを兼ねて参加されてみてはいかがでしょうか？

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「久留米囲碁まつり」は、5月27日(日)久留米えーるピアで開催されました。今回観戦の主たる目的は、地方都市でありながら、こんなすばらしい大会を企画された仕掛け人達に、開催にこぎつけた経緯や苦労話を聞くためのものでした。どこでも普及を第一義に考えています。子供の為の入門教室と子ども大会を前面に押し出したものでした。大会の運営については、不慣れや不手際もありましたが、それは次回以降に解決されるでしょう。熊本から約10名参加していました。この大会が2回、3回と継続され、普及の一翼を担ってもらえれば嬉しい限りです。

この二つの大会に参加しての感想は、「囲碁に勝るものはなし」という一言です。こんな大会を熊本でも企画、立案し、一日も早く実現したいという思いを強くしました。(江藤茂)

佐土原子ども教室

(熊本市佐土原1丁目10-1 Tel.096-367-1707 渡辺利男)

開設1年、まだまだ試行錯誤の毎日です

教室を開いてやがて一年になろうとしています。

井山裕太天元は5才で囲碁を覚え、一年間でアマ三段の実力になったそうですが、我が教室には、そんな天才はまだ出現していません。

でも、例えばまだ10級だと嘆くのではなく、1年足らずで、20級から10級もアップしたんだ、スゴイねーと誉めることにしています。

子どもは誉められることによってやる気を出して、自分で勉強しようという気になるからです。一方的に教えた知識は一方的に出ていきやすいが、自分で体得したものは出て行きにくいと言います。

以上、頭ではわかっている、つい「この間教えたばかりだろー」と言ってしまう私が、まだまだ修行が足りないようです…。



第59期肥後本因坊に畠中六段

6月2日(土)・3日(日)に熊日で肥後本因坊三番勝負があり、挑戦者の畠中忠俊さんが内田直也本因坊からタイトルを獲得しました。

畠中さんは、小学校5年生の時、少年少女囲碁大会で全国4位。第二高校の時は全国高校囲碁選手権で団体優勝した経験があります。子どもの時に、どう囲碁に向き合っていたのか・・・次号にて紹介する予定です。

・・・全国高校囲碁選手権熊本県大会・・・

6月10日(日)水前寺共済会館にて「全国高校囲碁選手権熊本県大会」(日本棋院県本部・RKK・熊本県高校文化連盟主催)が開催されました。結果は下記のとおりです。代表校、代表者は7月23日～25日 日本棋院(東京)で開かれる全国大会に出場します。

※個人の部・・・男子 田中一成(真和高2年)
上村晃弘(人吉高1年)

女子 西山奈々(真和高2年)

※団体の部・・・男子 玉名高校チーム
(3人1チーム)

女子 真和高校Aチーム

高校総合文化際囲碁部門



6月8日(金)9日(土) 水前寺共済会館にて開催されました。
(41名参加)

個人 男子 田中一成(真和高2年)

女子 西山奈々(真和高2年)

団体(熊本県チーム)

河野健児(玉名高3年)・池上史人(文徳高3年)

橋本優希(第2高2年)

個人・熊本県代表チームの選手は、8月8・9日 富山県で開催される全国大会に出場します。

〈高校大会を観戦して〉・・・数年前と比べて2大会とも参加者が少なくなったと感じました。囲碁を愛する高校生の皆さんが卒業までにぜひ、二人以上の後輩に教えてあげてください。そうすれば、来年はきっと今年よりたくさんの囲碁仲間が集うことでしょう。この大会を継続させるためにもよろしくお願いします。普及の為に9路盤を学校に提供しますので、希望する方は申し込んでください。(囲碁普及会事務局)

大会のお知らせ

★ **第3回交流囲碁大会** 7月22日(日) 9:00・ 参加費 500円・ 於託麻囲碁クラブ

申し込みは各教室をお願いします。

★ **南九州3県交流試合**を8月19日に計画しています。宮崎都城教室・鹿児島教室のチビッコ棋士たちと楽しい夏休みの思い出をつくりませんか。場所は人吉です。詳しいことは決まり次第お知らせいたします。

★ **全九州ペアオープン戦**が7月7・8日(土・日)阿蘇白雲山荘にて開催されます。九州各地から200名を超える参加者があります。ペアは男女のペアであれば年齢は関係ありません。プロ棋士も参加します。参加希望の方は各教室の先生に問い合わせてください。

学校での囲碁教室開催について

熊日でも紹介されましたが、阿蘇教室の藤崎さんが山田小学校・阿蘇中学校で出前囲碁教室を開催しました。囲碁の教育的効果は以前から言われている通りで、東大をはじめ有名大学でも囲碁の授業が始まっています。県下の小・中学校などで囲碁教室を希望されるところがありましたら、ぜひご紹介下さい。

編集後記

春から夏にかけてたくさんの囲碁大会が開催されます。東京では1000人規模の子ども大会などもあるようです。

熊本でもまだまだ「囲碁人口」が増える可能性があるということでしょうか。これからも大会などの情報をお伝えしますので、周りの友達にもぜひ囲碁を紹介して下さい。また、たくさんの方の投稿お待ちしております。(西山)